

**【乳癌】 MT届出票** 記入日 年 月 日

紹介の有無 紹介者 記入者

外来 初発  入院  初発  新発生  再発  有  無

診療情報C

医療施設 診療科	市立長浜病院	科	患者ID	【入院期間】(西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日まで
医師氏名		科	病歴番号	
フリガナ		<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	<input type="checkbox"/> 単 <input type="checkbox"/> 多 <input type="checkbox"/> 重複 <input type="checkbox"/> 同時性 <input type="checkbox"/> 異時性	【今回の入院】 <input type="checkbox"/> 化療あり <input type="checkbox"/> 放射あり <input type="checkbox"/> 免疫あり <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> なし ( )
患者氏名				【今後の予定】 <input type="checkbox"/> 化療あり <input type="checkbox"/> 放射あり <input type="checkbox"/> 免疫あり <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> なし ( )
原発部位	<input type="checkbox"/> 右 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> C'	<input type="checkbox"/> 左 <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> E'	<input type="checkbox"/> その他( )	【今後の予定】 <input type="checkbox"/> 化療あり <input type="checkbox"/> 放射あり <input type="checkbox"/> 免疫あり <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> なし ( )
診断	<input type="checkbox"/> 閉経後 <input type="checkbox"/> 痛み <input type="checkbox"/> 腫れ <input type="checkbox"/> しこり <input type="checkbox"/> 発赤 <input type="checkbox"/> 乳頭分泌 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> visible abnormality <input type="checkbox"/> asymmetry <input type="checkbox"/> skin dimpling <input type="checkbox"/> peau d'orange <input type="checkbox"/> skin infiltration <input type="checkbox"/> scar <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 腫瘍径 _____ mm <input type="checkbox"/> mammography所見 ( ) <input type="checkbox"/> echography所見 ( )			【一次検診での指摘部位】 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 不明
組織分類	<input type="checkbox"/> noninvasive ductal carcinoma <input type="checkbox"/> lobular carcinoma in situ <input type="checkbox"/> papillotubular carcinoma <input type="checkbox"/> solid-tubular carcinoma <input type="checkbox"/> scirrhous carcinoma <input type="checkbox"/> special types ( ) <input type="checkbox"/> paget's disease			

**乳癌取扱い規約【第16版】** **UICC(第6版)**

e - TNM	T	N	M	Stage	T	N	M	Stage
---------	---	---	---	-------	---	---	---	-------

【手術日】 年 月 日 原発巣の大きさ X mm

・ 術式及び侵襲部位  Bt  Bq  Bp  Tm  Ax  Jo  Ps  So  Mj  Mo

・ センチネルリンパ節生検  無  有

・ リンパ節転移:  無  有 ( Level I Level II Level III )

・ 補助療法 術前 術後

放射線療法  有  有

化学療法  有  有

内分泌療法  有  有

標的免疫療法  有  有

外科的療法  有  有

【根治度】  A  B  C  非切除

【進展度】  上皮下  限局  所属リンパ節  隣接臓器  遠隔転移  その他 ( )

p - TNM	T	N	M	Stage	T	N	M	Stage
---------	---	---	---	-------	---	---	---	-------

腫瘍径 ( X X ) cm grade 1 2 3

T:  is  2  0  3  1mic  4a  1a  1b  1c

N:  0  1  2  3c

M:  0  1  2  3c

断端: 乳頭側 臍側 脚側

リンパ節転移: Ax: / Sc: / Jo: / Ps: / So: / その他( )

ER  +  - PgR  +  - HER-2  +  - (FISH)  +  -

【進展度】  上皮下  限局  所属リンパ節  隣接臓器  遠隔転移  不明

転帰

治療  不実  進行或生命予後についての見込みなどを含めた告知  精神的・身体的理由で告知できず

軽快  死亡  生命予後まで含めて全てを説明  前医で告知済

寛解  悪病死  病状や進行度までを説明  告知の内容不詳

悪化  他が死亡  病名告知のみ  悪性以外の告知

その他  他病死  死因

**【肺】 MT届出票** 記入日 年 月 日

紹介の有無 紹介者 記入者

外来 初発  入院  初発  新発生  再発  有  無

診療情報C

医療施設 診療科	市立長浜病院	科	患者ID	【入院期間】(西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日まで
医師氏名		科	病歴番号	
フリガナ		<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	<input type="checkbox"/> 単 <input type="checkbox"/> 多 <input type="checkbox"/> 重複 <input type="checkbox"/> 同時性 <input type="checkbox"/> 異時性	【紹介元医療機関】
患者氏名				【紹介元診療科】
部位	<input type="checkbox"/> 肺野型 <input type="checkbox"/> 占拠部位 <input type="checkbox"/> 右中葉 <input type="checkbox"/> 右中葉 <input type="checkbox"/> 右中葉 <input type="checkbox"/> 右中葉	<input type="checkbox"/> 右中葉 <input type="checkbox"/> 右中葉 <input type="checkbox"/> 右中葉 <input type="checkbox"/> 右中葉	<input type="checkbox"/> 右中葉 <input type="checkbox"/> 右中葉 <input type="checkbox"/> 右中葉 <input type="checkbox"/> 右中葉	【今回の入院】 <input type="checkbox"/> 化療あり <input type="checkbox"/> 放射あり <input type="checkbox"/> 免疫あり <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> なし ( )
治療方法	<input type="checkbox"/> 外科手術(開胸) <input type="checkbox"/> 胸腔鏡下 <input type="checkbox"/> 胸腔鏡下 <input type="checkbox"/> 術前放射有 <input type="checkbox"/> 術前化療有 <input type="checkbox"/> 無治療 <input type="checkbox"/> その他( )			【今後の予定】 <input type="checkbox"/> 化療あり <input type="checkbox"/> 放射あり <input type="checkbox"/> 免疫あり <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> なし ( )
外科手術の方法	<input type="checkbox"/> 肺全摘 <input type="checkbox"/> 肺葉切除 <input type="checkbox"/> 区域切除 <input type="checkbox"/> 部分(楔状)切除 <input type="checkbox"/> 気管・気管支切除 <input type="checkbox"/> 試験開胸・審査開胸 <input type="checkbox"/> 隣接臓器合併切除術胸膜肺全摘 <input type="checkbox"/> 気管・気管支形成 <input type="checkbox"/> 血管形成 <input type="checkbox"/> その他の開胸( )			【今後の予定】 <input type="checkbox"/> 化療あり <input type="checkbox"/> 放射あり <input type="checkbox"/> 免疫あり <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> なし ( )
組織分類	<input type="checkbox"/> 扁平上皮 <input type="checkbox"/> 小細胞癌 <input type="checkbox"/> 腺癌 <input type="checkbox"/> 大細胞癌 <input type="checkbox"/> 腺扁平上皮癌 <input type="checkbox"/> カルチノイド <input type="checkbox"/> 唾液腺型癌 <input type="checkbox"/> 分類不能癌 <input type="checkbox"/> その他の癌( )			

**肺癌取扱い規約**  【改訂第6版】  【改訂第7版】  どちらかにチェック

c または s - TNM	T	N	M	Stage	T	N	M	Stage
---------------	---	---	---	-------	---	---	---	-------

【手術日】(西暦) 年 月 日 腫瘍径 X X mm

T:  0  1  2  3  X

N:  0  1  2  3

M:  0  1  2  3

PL:  0  1  2  3

D:  0  1  2  3

E:  0  1  2  3

PM:  0  1  2  3

ND:  0  1  2  3

根治性:  完全切除  非完全切除  判定不能手術  非切除

肉眼的切除断端:  Br  LA  PA  PA  PV  SVC  GW  Tr  PP  Ao  Es  MedP  Ver  Li  Dia  全て(-)  Per

【進展度】  上皮下  限局  所属リンパ節  隣接臓器  遠隔転移  その他  不明

p - TNM	T	N	M	Stage	T	N	M	Stage
---------	---	---	---	-------	---	---	---	-------

T:  0  1  2  3  X

N:  0  1  2  3

M:  0  1  2  3

G:  0  1  2  3

R:  0  1  2  3

pl:  0  1  2  3

E:  0  1  2  3

pm:  0  1  2  3

切除断端:  br  la  pa  pa  pv  svc  gw  tr  pp  ao  es  medp  ver  li  dia  全て(-)  per

【進展度】  上皮下  限局  所属リンパ節  隣接臓器  遠隔転移  術前治療  不明

転帰

治療  不実  進行或生命予後についての見込みなどを含めた告知  精神的・身体的理由で告知できず

軽快  死亡  生命予後まで含めて全てを説明  前医で告知済

寛解  原病死  病状や進行度までを説明  告知の内容不詳

悪化  他が死亡  病名告知のみ  悪性以外の告知

その他  他病死  死因

※ 院内がん登録は、取り扱い規約【改訂第6版】をTNM分類第6版に変換して登録しています。

厚生労働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）

分担研究報告書

がん患者の診療の質に関する情報ニーズに関する研究

研究分担者 祖父江友孝 大阪大学医学系研究科社会環境医学講座環境医学教室 教授

研究分担者 東 尚弘 東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学／健康医療政策学 准教授

研究要旨

診療の質をQuality Indicatorで測定する目的は均てん化・質の改善の進捗管理であるが、患者への情報提供の方法や程度も併せて考えなければならない。本研究においては厚生労働省の受療行動調査における病院選択における情報ニーズについての回答を、患者調査と突合せ5がん患者について集計することでその現状を記述することで、患者側の情報ニーズの現状を把握し、今後の検討の資料とした。結果、平成20年調査において「生存率などの治療結果」といったQIで測定している診療の質に対応する情報が追加されていたが、これが「必要だと思った」と回答した割合は、「医師の経歴・専門」など他の項目と比較してそれほど多くはなかった。しかし、患者全体との比較では、5がん患者が「必要」と回答する割合が特に多い傾向がみられ特徴的であると言えた。生存率などの治療結果とQIの測定結果は目標と共にするものの技術的な面、理解しやすさなど様々な点で異なるため、今後慎重に検討する必要がある。

A. 研究目的

本研究においては、5がんにおける技術的な診療の質を評価する指標と計測システムの確立を目指した研究を行ってきたが、そのシステムの先の評価結果の利用方法は二通り考えられる。一つは医療提供側（政策立案者、医療機関）が改善活動を行う際の進捗管理に利用する、もう一つは患者がその評価結果を利用して受診先を選択するために利用することである。既に診療の質情報の公開が進んでいる欧米における研究結果からは患者が受療先選択に際して診療の質情報を利用する頻度はまれであるという結果が一般的であるものの、これらの知見が、保険制度上受診先の選択肢に制限のないわが国においては当てはまるかは不明であり、今後診療の質を測定した際に後者の目的のために公開すべきであるという議論が生ずることは必至であると考えられる。本分担研究に関しては、今回QIの対象としている5がん患者の病院選択における情報ニーズを記述することを目的とする。

B. 研究方法

受療行動調査と患者調査の突合データの二次利用申請を行い検討した。患者調査、受療行動調査は、全国の一般病院を利用する患者（外来・入院）を対象として、層化無作為抽出した一般病院（500施設）を利用する患者を調査の客体としている。医療施設ごとに指定した1日に入院中・外来受診した患者を両方調査している。受療行動調査においてはこれらの患者に対して直接質問紙を配布して受療にいたる過程などについて自記式で情報収集している。調査質問の中に、「この病院を選ぶにあたり、どのような情報が必要だと思いましたか（平成17年までは「ほしいと思いましたか」）。また、入手できた情報はどれですか。」という質問が含まれており、本解析でこの質問への回答を主たる解析対象とした。ただし、平成14年度、17年については、これらの質問表現が異なっており、「ほしいと思った」情報とされ、平成14年

度は「入手できた」かどうかの質問は含まれておらず、併せて解析したが参考値とした。5がん患者（胃・大腸・肺・乳腺・肝臓、上皮内癌を含む）を同定には患者調査に含まれる傷病名コードを使用した。

これらの値は、公表されている全患者サンプルにおける報告値と比較し、がん患者における情報ニーズの特徴を記述した。結果は二次利用の規則に従い全て拡大乗数を使用した日本全国の調査日受診患者に投影した割合を報告する。

### C. 研究結果

平成14年～20年の患者情報ニーズに関する回答割合を全患者、5がん患者について図示したものを図1～3に示す。平成14年度、17年度、平成20年度の各年度間で挙げられている項目が異なるものの、一貫して「医師の専門分野・経歴」が高く、平成20年度から追加された「可能な検査や治療法の詳細」も同程度の高い割合の患者に「必要」と回答された。「生存率などの治療結果」については病院選択に必要であったと回答した割合は、「治療費用や支払い方法」、「安全のための取り組み」などに比較しても高くはないものの、平成20年度において5がん患者は入院で10.8%、外来で11.9%、全体よりも「必要」と回答する割合が高く、大きな差が見られた。また入院患者は「可能な検査や治療法の詳細」について、5がんの患者は10.2%全体よりも「必要」という回答が多かった。（外来患者では、差は5.7%）。必要な情報の候補として挙げられている項目の内容がことなるために年度ごとの推移は難しいが、共通の項目である「医師の経歴や専門性」でも質問表現が「欲しいと思った情報」から「病院を選ぶのに必要であった情報」となった平成20年から急激に変化しており、その影響も一因と考えられた。

### D. 考察

受療行動調査で質問されている病院選択に必要なであった情報は直接本研究班で測定している診療プロセスを対象とした診療の質

情報ではないものの、「生存率などの治療の結果」で代表されるような診療の質情報に関するニーズは他の項目と比べて著しく高いとは言えなかった。しかしながら、5がん患者と患者全体との比較においての差は大きく、5がん患者で特徴的に必要とされる情報であることが伺えた。

この結果を受けて、直ちに診療の質情報のニーズは高いとは言えない。また、診療プロセスに関する情報を提供する場合その意味づけを分かりやすく説明することは重要である。診療プロセスによる質測定結果を公表している米国の Hospital Compare などでは、背景となるエビデンスを参照しつつ QI で示された標準診療の根拠が説明されているが、相対的にどの QI が重要なのか、などがわかる形にはなっていない。今後わが国の QI 情報の提供に際しての課題と言える。

情報ニーズが平成20年で大きく全体として上昇した原因は不明である。医療崩壊の報道が盛んになされるようになって情報ニーズが高まったとも考えられるし、質問の表現も「この病院を選ぶにあたり」「ほしいと感じた」情報から、「必要だと思った」情報に変更されており、「必要だと思ったけど、特別欲しいとは感じない」という事項も考えられることから影響があり得る。これらの検証は別途研究とするか、今後の時系列的な動きで検証する必要があると考えられる。

### E. 結論

診療の質を QI で測定した結果を公表すべきかどうかについては慎重に検討する必要がある。受療行動調査の結果からは、生存率などの治療結果の情報が必要と考えるのは全患者に比較すると5がん患者で特に割合が高いものの、他の項目の比較においてはさほど重要な位置を占めているとまでは言えない。診療の質情報の解釈の難しさなどが関連している可能性もあり、今後情報提供を行う際には方法について留意が必要である。

### F. 健康危険情報

特になし

## G. 研究発表

### 1. 著書

なし

### 2. 論文発表

(祖父江友孝)

1. Higashi T, Hasegawa K, Kokudo N, Makuuchi M, Izumi N, Ichida T, Kudo M, Ku Y, Sakamoto M, Nakashima O, Matsui O, Matsuyama Y, Sobue T; the Liver Cancer Study Group of Japan. Demonstration of quality of care measurement using the Japanese liver cancer registry. *Hepatol Res*. 2011 Oct 7. Epub
2. 東尚弘, 中村文明, 祖父江友孝: がん診療における Quality Indicator. *医薬ジャーナル* 47(9): 89-92, 2011
3. Matsuda T, Marugame T, Kamo K, Katanoda K, Ajiki W, Sobue T; Japan Cancer Surveillance Research Group. Cancer incidence and incidence rates in Japan in 2005: based on data from 12 population-based cancer registries in the Monitoring of Cancer Incidence in Japan (MCIJ) project. *Jpn J Clin Oncol*. 2011;41(1):139-47.
4. Matsuda T, Ajiki W, Marugame T, Ioka A, Tsukuma H, Sobue T; Research Group of Population-Based Cancer Registries of Japan. Population-based survival of cancer patients diagnosed between 1993 and 1999 in Japan: a chronological and international comparative study. *Jpn J Clin Oncol*. 2011;41(1):40-51.

5. Ikeda N, Saito E, Kondo N, Inoue M, Ikeda S, Satoh T, Wada K, Stickley A, Katanoda K, Mizoue T, Noda M, Iso H, Fujino Y, Sobue T, Tsugane S, Naghavi M, Ezzati M, Shibuya K. What has made the population of Japan healthy? *Lancet*. 2011 Sep 17;378(9796):1094-105.
6. 祖父江友孝. がん登録の進歩. *腫瘍内科* 2011; 7(1); 56-61

(東 尚弘)

1. Machii R, Saika, K, Higashi T, Aoki, A, Hamashima C, and Saito H. Evaluation of feedback interventions for improving the quality assurance of cancer screening in Japan: Study design and report of the baseline survey. *Japanese Journal of Clinical Oncology* 2012 Feb;42(2):96-104
2. Ono R, Higashi T, Takahashi O, Tokuda Y, Shimbo T, Endo H, Hinohara S, Fukui T, Fukuhara S. Sex differences in the change in health-related quality of life associated with low back pain. *Quality of Life Research*, 2011 (in press)
3. Higashi T, Hasegawa K, Kokudo N, Makuuchi M, Izumi N, Ichida T, Kudo M, Ku Y, Sakamoto M, Nakashima O, Matsui O, Matsuyama Y, Sobue T; the Liver Cancer Study Group of Japan. Demonstration of quality of care measurement using the Japanese liver cancer registry. *Hepatol Res*. 2011;41(12):1208-1215
4. Ohura T, Ishizaki T, Higashi T, Konishi T, Ishiguro R, Nakanishi K, Shah S, Nakayama T. Reliability and

validity tests of an evaluation tool based on the modified Barthel Index. International Journal of Therapy and Rehabilitation. 2011; 18(8) 422-428

5. 東 尚弘、浅村尚生、肺癌登録と Quality Indicator、肺癌 2012;52:72-76
6. 東 尚弘: がんの診療の質を測定する Quality Indicator –がん診療の質を改善するために– medicina 2011;48(13): 2156-2159
7. 東 尚弘、中村文明、祖父江友孝: がん診療における Quality Indicator. 医薬ジャーナル 2011;47(9): 89-92.
8. 相崎扶友、田宮菜奈子、東 尚弘、柏木聖代: ヘルスサービスリサーチ チャイルドヘルスサービスリサーチ. 日本公衆衛生雑誌 2011;58(3): 202-208.

3. 学会発表  
(祖父江友孝)

1. Nakamura F, Higashi T, Asamura H, Sobue T, Ohtani M, Mekata E, Higashide S, Shinkai T, Okamura T, National Hospital Organization Quality Indicator Study Group "Assessing the quality of lung cancer care in community cancer center hospitals in Japan." ASCO annual meeting June 1-5. 2011 Chicago
2. Higashi T, Nakamura F, Mukai H, Sobue T, Mekata E, Ohtani M, Higashide S, Shinkai T, Okamura T, National Hospital Organization Quality Indicator Study Group "Assessing the quality of breast cancer care in cancer center hospitals in Japan." ASCO annual meeting June 1-5. 2011 Chicago
3. Nakamura F, Higashi T, Sobue T, Okamura T, National Hospital Organization Quality Indicator Study

Group "Informed Consent of Oral Chemotherapy is Insufficient in Practice" AcademyHealth annual research meeting June 12-14. 2011 Seattle

4. Nakamura F, Higashi T, Saruki N, Hosokawa T, Takegami M, Nakayama T, Fukuhara S, Sobue T "Quality of Media Report on Public Reporting Program of Cancer Survival in Japan" AcademyHealth annual research meeting June 12-14. 2011 Seattle.
5. 祖父江友孝 がん医療均てん化指標としての Quality Indicator 第 66 回消化器外科学会パネルディスカッション July 13-15, 2011 名古屋
6. 長谷川潔 国土典宏、東 尚弘、祖父江友孝 肝臓診療の客観的評価を目指した Quality Indicator の策定と実測データによる改訂 第 66 回消化器外科学会パネルディスカッション July 13-15, 2011 名古屋
7. 石黒めぐみ、杉原健一、東 尚弘、中村文明、祖父江友孝 大腸癌における「診療の質指標 (Quality Indicator : QI)」作成・使用の試み 第 66 回消化器外科学会パネルディスカッション July 13-15, 2011 名古屋
8. 東 尚弘、島田安博、中村文明、岡村健、祖父江友孝 胃癌診療の Quality Indicator の作成・実測の試みと今後 第 66 回消化器外科学会パネルディスカッション July 13-15, 2011 名古屋
9. Nakamura F, Higashi F, Asamura H, Sobue T, Ohtani M, Mekata E, Higashide S, Shinkai T, Okamura T, National Hospital Organization Quality Indicator Study Group "Assessing the quality of lung cancer

care in community cancer center hospitals in Japan." 第9回臨床腫瘍学会学術集会 July 21-23, 2011 横浜

10. Nakamura F, Higashi T, Mukai H, Sobue T, Mekata E, Ohtani M, Higashide S, Shinkai T, Okamura T, National Hospital Organization Quality Indicator Study Group "Assessing the quality of breast cancer care in cancer center hospitals in Japan." 第9回臨床腫瘍学会学術集会 July 21-23, 2011. 横浜
11. Nakamura F, Higashi T, Sugihara K, Ishiguro M, Sobue T. Prioritizing quality indicators for colorectal cancer care. International Society for Quality in Healthcare Conference Sep 14-17, 2011. Hong Kong
12. Ishiguro M, Sugihara K, Higashi T, Sobue T. Japanese Study Group for Postoperative Follow-up of Colorectal Cancer. Evaluation of quality of care for colorectal cancer patients in Japan; an Analysis using the clinical database. Society of Surgical Oncology, Mar. 2012 Orlando.

(東 尚弘)

1. Nakamura F, Higashi T, Sobue T, Okamura T, National Hospital Organization Quality Indicator Study Group: Informed Consent of Oral Chemotherapy is Insufficient in Practice. AcademyHealth annual research meeting. 2011.6, Seattle, USA.
2. Nakamura F, Higashi T, Saruki N, Hosokawa T, Takegami M, Nakayama T, Fukuhara S, Sobue T: Quality of Media Report on Public Reporting Program of

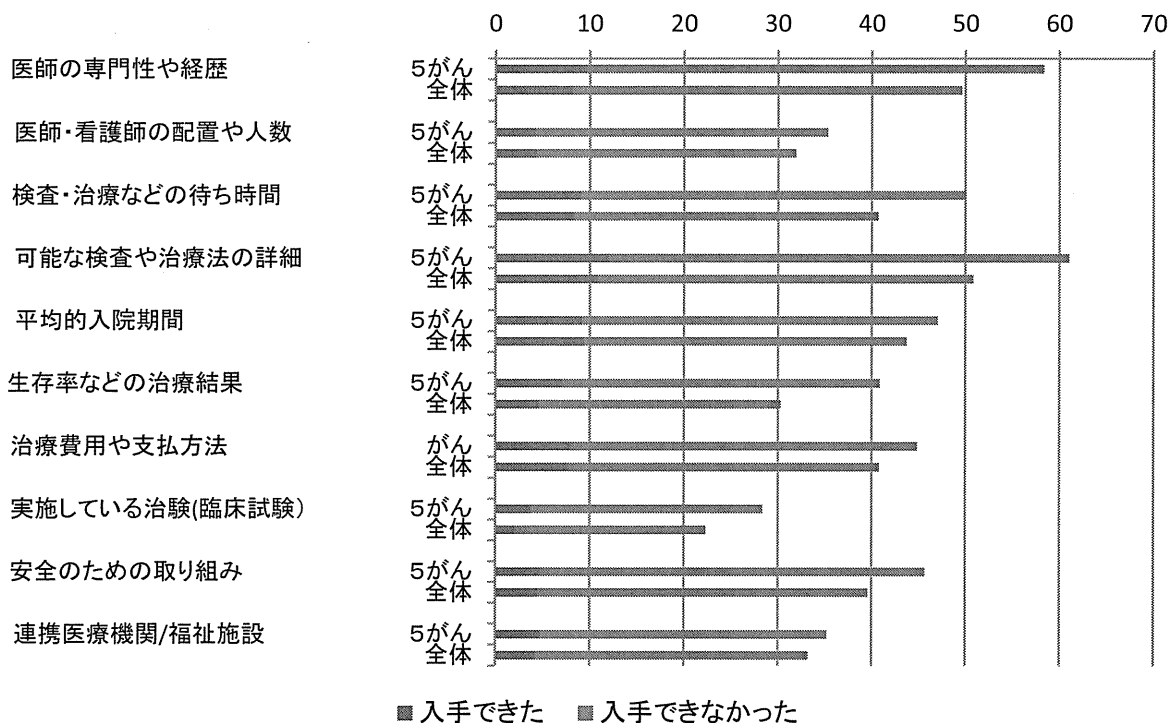
Cancer Survival in Japan. AcademyHealth annual research meeting. 2011.6, Seattle, USA.

3. Nakamura F, Higashi T, Mukai H, Sobue T, Mekata E, Ohtani M, Higashide S, Shinkai T, Okamura T, National Hospital Organization Quality Indicator Study Group: Assessing the quality of lung cancer care in community cancer center hospitals in Japan. 第9回日本臨床腫瘍学会学術集会. 2011. 7, 横浜.
4. Nakamura F, Higashi T, Asamura H, Sobue T, Ohtani M, Mekata E, Higashide S, Shinkai T, Okamura T, National Hospital Organization Quality Indicator Study Group: Assessing the quality of breast cancer care in cancer center hospitals in Japan. 第9回日本臨床腫瘍学会学術集会. 2011. 7, 横浜
5. 東 尚弘: 胃癌診療のQuality Indicatorの作成・実測の試みと今後. 第66回日本消化器外科学会総会 パネルディスカッション. 2011.7, 名古屋
6. Nakamura F, Higashi T, Sugihara K, Ishiguro M, Sobue T: Prioritizing quality indicators for colorectal cancer care. International Society for Quality in Healthcare Conference. 2011.9, Hong Kong, China.
7. 中村文明, 東 尚弘, 中山健夫, 福原俊一, 祖父江友孝: がん生存率新聞報道に対する一般国民の理解の検証. 第70回日本公衆衛生学会総会. 2011. 10, 秋田.

H. 知的財産権の出願・登録状況  
なし

図1. 平成20年受療行動調査の回答で「必要だと思った」と回答された割合、およびうち、「入手できた」割合

## H20 入院



## H20 外来

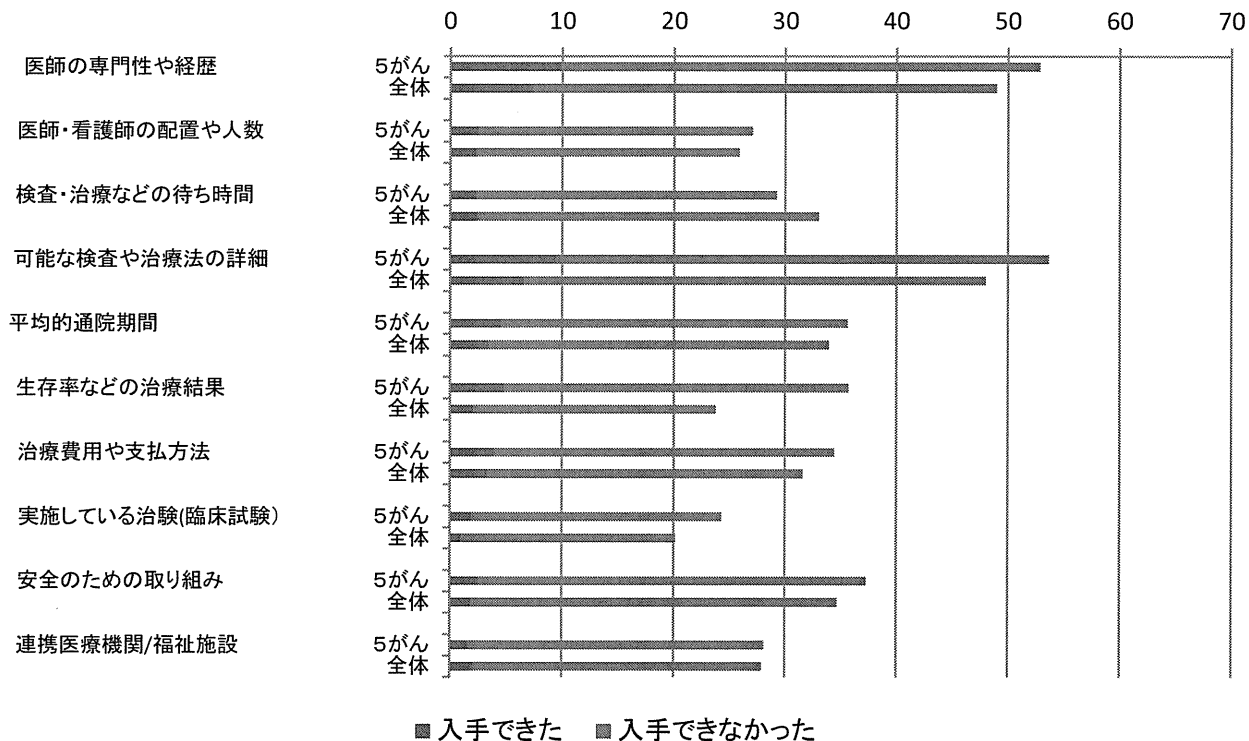
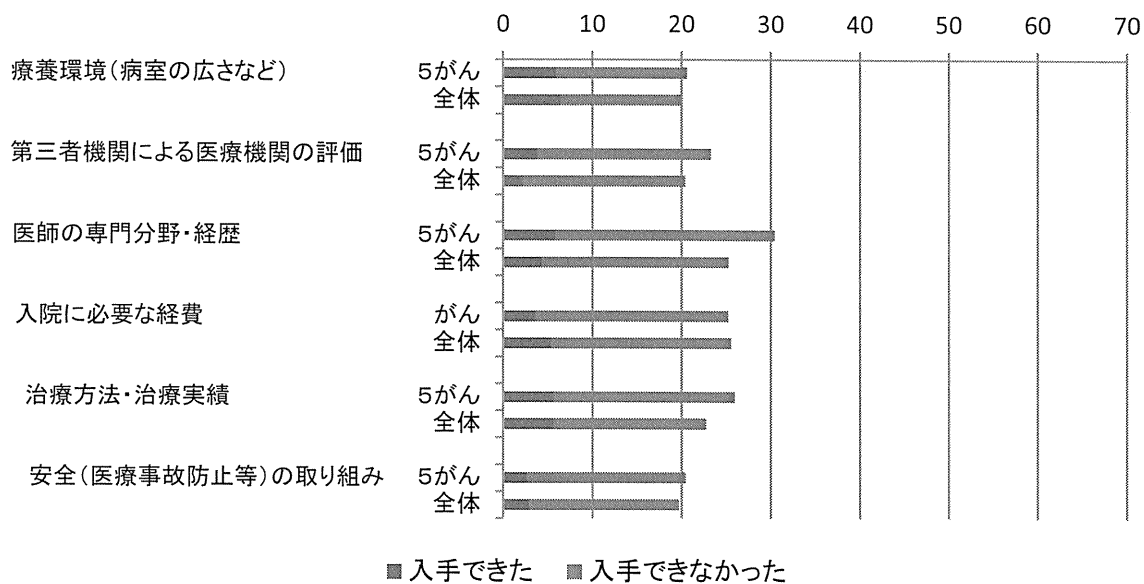


図2. 平成17年受療行動調査の回答で「ほしいと思った」と回答された割合、およびうち、「入手できた」割合

### H17 入院



### H17 外来

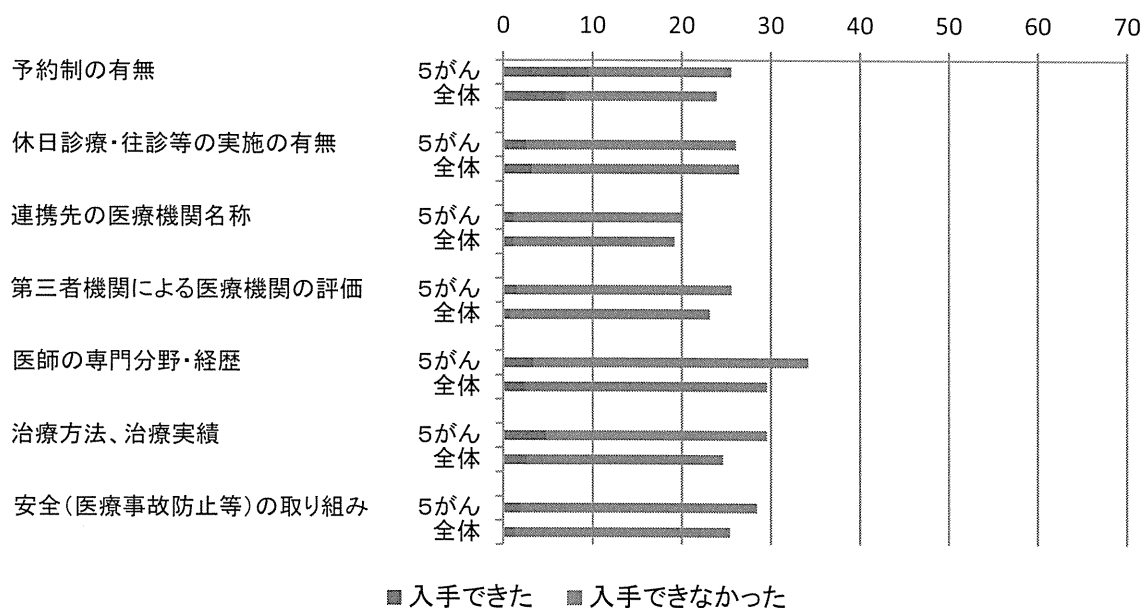
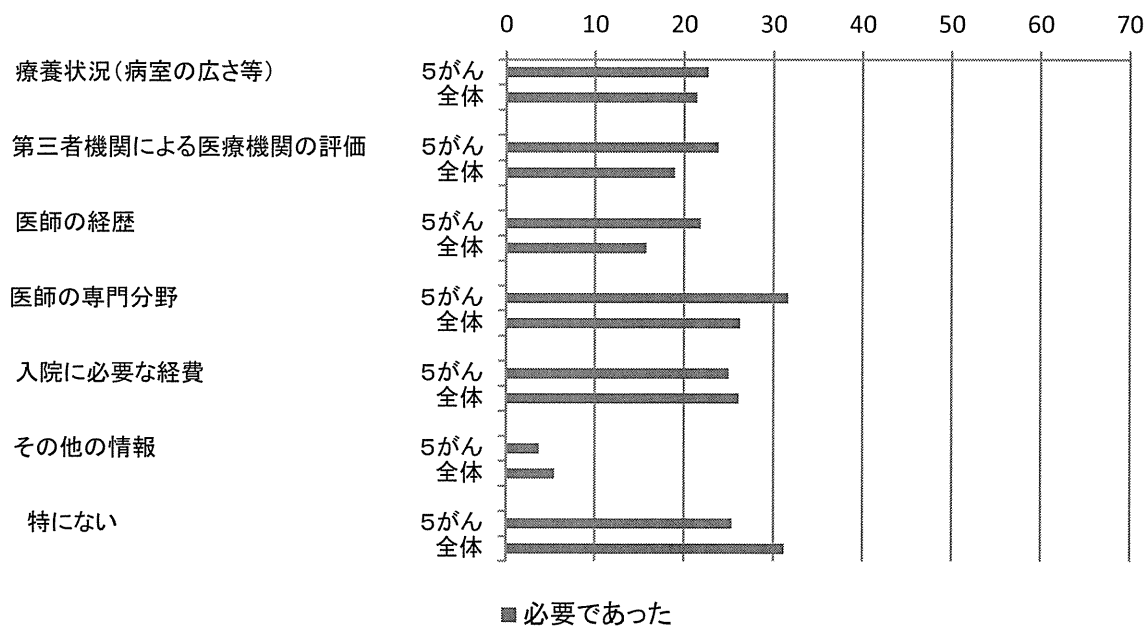


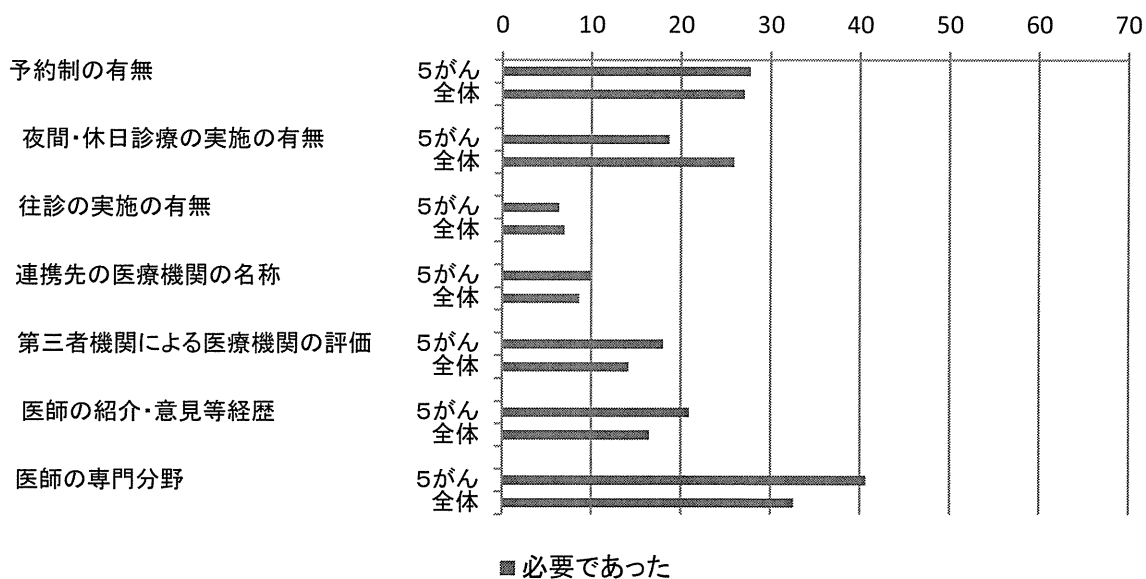


図3. 平成14年受療行動調査の回答で「ほしかった」と回答された割合

### H14 入院



### H14 外来



### Ⅲ 研究成果の刊行物に関する一覧表

刊行物一覧

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
植竹宏之、石川敏昭、 <u>杉原健一</u>	大腸癌に対する術後補助化学療法の考え方	瀧内比呂也 企画	うまく続ける 消化管がん化学療法	羊土社	東京	2011	143-148
植竹宏之、 <u>杉原健一</u>	大腸癌の術後補助化学療法	大村健二、瀧内比呂也編	消化器癌化学療法 改訂3版	南山堂	東京	2011	262-266
<u>目方英治</u>	私たちのレジメン 2011-2012			未来医療推進支援ネットワーク出版		2011	13-49

雑誌

発表者名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Matsuda T, Marugame T, Kamo K, Katanoda K, Ajiki W, <u>Sobue T</u> ; Japan Cancer Surveillance Research Group	Cancer incidence and incidence rates in Japan in 2005: based on data from 12 population-based cancer registries in the Monitoring of Cancer Incidence in Japan (MCIJ) project.	Jpn J Clin Oncol	41(1)	139-47	2011
Matsuda T, Ajiki W, Marugame T, Ioka A, Tsukuma H, <u>Sobue T</u>	Research Group of Population-Based Cancer Registries of Japan. Population-based survival of cancer patients diagnosed between 1993 and 1999 in Japan: a chronological and international comparative study.	Jpn J Clin Oncol	41(1)	40-51	2011
Ikeda N, Saito E, Kondo N, Inoue M, Ikeda S, Satoh T, Wada K, Stickley A, Katanoda K, Mizoue T, Noda M, Iso H, Fujino	What has made the population of Japan healthy?	Lancet	378(9796)	1094-105	2011

発表者名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Y, <u>Sobue T</u> , Tsugane S, Naghavi M, Ezzati M, Shibuya K.					
<u>祖父江友孝</u>	がん登録の進歩	腫瘍内科	7(1)	56-61	2011
Matsubara N, <u>Mukai H</u> , Itoh K, Nagai S.	Prognostic Impact of Ki-67 Overexpression in Subgroups Categorized according to St. Gallen with Early Stage Breast Cancer.	Oncology	81(5-6)	345-52	2011
Araki K, Kitagawa K, <u>Mukai H</u> , Mukohara T, Kodama K, Ando Y, Narabayashi M, Minami H, Mera K, Sasaki Y.	irst linical pharmacokinetic dose-escalation study of sagopilone, a novel, fully synthetic epothilone, in Japanese patients with refractory solid tumors.	Invest New Drugs		Epub ahead of print	2011
Matsubara N, Itoh K, <u>Mukai H</u> , Nagai S.	Long-term outcome of pleurodesis with OK-432 in metastatic breast cancer: a new risk model for success from an analysis of 75 cases.	Int J Clin Oncol		Epub ahead of print	2011
Mukohara T, Nagai S, <u>Mukai H</u> , Namiki M, Minami H.	Eribulin mesylate in patients with refractory cancers: a Phase I study.	Invest New Drugs.		Epub ahead of print	2011
Sawaki M, <u>Mukai H</u> , Tokudome N, Nakayama T, Taira N, Mizuno T, Yamamoto Y, Horio A, Watanabe T, Uemura Y, Ohashi Y.	Safety of adjuvant trastuzumab for HER-2-overexpressing elderly breast cancer patients: a multicenter cohort study	Breast Cancer		Epub ahead of print	2011
Yamauchi C, Fujii S, Kimura T, Kuwata T, Wada N, <u>Mukai H</u> , Matsumoto N, Fukayama M, Ochiai A	E-cadherin expression on human carcinoma cell affects trastuzumab-mediated antibody-dependent cellular cytotoxicity through killer cell lectin-like receptor G1 on natural killer cells	Int J Cancer	128(9)	2125-37	2011

発表者名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Ohsumi S, Shimozuma K, Ohashi Y, Shinji M, Hozumi Y, <u>Mukai H</u> , Takatsuka Y, Aihara T.	Health-related quality of life and psychological distress of breast cancer patients after surgery during a phase III randomized trial comparing continuation of tamoxifen with switching to anastrozole after adjuvant tamoxifen for 1-4 years: N-SAS BC 03.	Breast Cancer Res Treat	127(1)	143-52	2011
Tahara M, Minami H, Kawashima M, Kawada K, <u>Mukai H</u> , Sakuraba M, Matsuura K, Ogino T, Hayashi R, Ohtsu A.	Phase I trial of chemoradiotherapy with the combination of S-1 plus cisplatin for patients with unresectable locally advanced squamous cell carcinoma of the head and neck.	Cancer Sci.	102(2)	419-24	2011
Takayasu K, Arii S, Kudo M, Ichida T, Matsui O, Izumi N, Matsuyama Y, Sakamoto M, Nakashima O, Ku Y, <u>Kokudo N</u> , Makuuchi M.	Superselective transarterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma. Validation of treatment algorithm proposed by Japanese guidelines.	J Hepatol.			2011
Arita J, Takahashi M, Hata S, Shindoh J, Beck Y, Sugawara Y, Hasegawa K, <u>Kokudo N</u> .	Usefulness of contrast-enhanced intraoperative ultrasound using Sonazoid in patients with hepatocellular carcinoma.	Ann Surg	254(6)	992-9	2011
Hata S, Imamura H, Aoki T, Hashimoto T, Akahane M, Hasegawa K, Bekku Y, Sugawara Y, Makuuchi M, <u>Kokudo N</u> .	Value of visual inspection, bimanual palpation, and intraoperative ultrasonography during hepatic resection for liver metastases of colorectal carcinoma.	World J Surg.	35(12)	2779-87	2011

発表者名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Watanabe T, Itabashi M, Shimada Y, Tanaka S, Ito Y, Ajioka Y, Hamaguchi T, Hyodo I, Igarashi M, Ishida H, Ishiguro M, Kanemitsu Y, <u>Kokudo N</u> , Muro K, Ochiai A, Oguchi M, Ohkura Y, Saito Y, Sakai Y, Ueno H, Yoshino T, Fujimori T, Koinuma N, Morita T, Nishimura G, Sakata Y, Takahashi K, Takiuchi H, Tsuruta O, Yamaguchi T, Yoshida M, Yamaguchi N, Kotake K, Sugihara K; Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum.	Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum (JSCCR) guidelines 2010 for the treatment of colorectal cancer.	Int J Clin Oncol	17(1)	1-29	2012
Waki K, Sugawara Y, Tamura S, Mieno MN, Yamashiki N, Kadowaki T, <u>Kokudo N</u> .	Outcome of liver transplantation for recipients with hepatitis B and hepatitis C virus coinfection: analysis of the UNOS data.	Transplantation.	92(7)	809-14	2011
Kishi Y, Saiura A, Yamamoto J, Koga R, Seki M, Morimura R, Yoshioka R, <u>Kokudo N</u> , Yamaguchi T.	Repeat treatment for recurrent hepatocellular carcinoma: is it validated?	Langenbecks Arch Surg.	396(7)	1093-100	2011
Sugawara Y, Tamura S, Kaneko J, Iida T, Mihara M, Makuuchi M, Koshima I, <u>Kokudo N</u> .	Single artery reconstruction in left liver transplantation.	Surgery	149(6)	841-5	2011

発表者名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Uchiyama K, Yamamoto M, Yamaue H, Ariizumi S, Aoki T, <u>Kokudo N</u> , Ebata T, Nagino M, Ohtsuka M, Miyazaki M, Tanaka E, Kondo S, Uenishi T, Kubo S, Yoshida H, Unno M, Imura S, Shimada M, Ueno M, Takada T.	Impact of nodal involvement on surgical outcomes of intrahepatic cholangiocarcinoma: a multicenter analysis by the Study Group for Hepatic Surgery of the Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery.	J Hepatobiliary Pancreat Sci.	18(3)	443-52	2011
Saiura A, Yamamoto J, <u>Kokudo N</u> , Koga R, Seki M, Hiki N, Yamada K, Natori T, Yamaguchi T.	Intrahepatic cholangiocarcinoma: analysis of 44 consecutive resected cases including 5 cases with repeat resections.	Am J Surg.	201(2)	203-8	2011
Shindoh J, Hasegawa K, <u>Kokudo N</u> .	Image of the month. Asymptomatic dilatation of the intrahepatic biliary tree due to thrombosed pericholedochal varices (portal biliopathy).	Clin Gastroenterol Hepatol.	9(2)	e14-5	2011
Kudo M, Izumi N, <u>Kokudo N</u> , Matsui O, Sakamoto M, Nakashima O, Kojiro M, Makuuchi M	HCC Expert Panel of Japan Society of Hepatology. Management of hepatocellular carcinoma in Japan: Consensus-Based Clinical Practice Guidelines proposed by the Japan Society of Hepatology (JSH) 2010 updated version.	Dig Dis.	29(3)	339-64.	2011
Kishi Y, Hasegawa K, Sugawara Y, <u>Kokudo N</u> .	Hepatocellular carcinoma: current management and future development-improved outcomes with surgical resection.	Int J Hepatol.	2011:7281 03 (Epub)		2011
Tamura S, Sugawara Y, <u>Kokudo N</u> .	Living donor liver transplantation for hepatocellular carcinoma: the Japanese experience.	Oncology	81 Suppl 1	111-5	2011

発表者名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Hasegawa H, <u>Kokudo N</u> .	Evidence-Based Guidelines for Treatment of Hepatocellular Carcinoma in Japan.	Hepatocellular Carcinoma	Springer	89-97	2011
<u>Kokudo N</u>	The road cancer control.	Drug Discoveries & Therapeutics	5(2)	60	2011
Kobayashi H, Mochizuki H, Morita T, Kameoka S, Teramoto T, Kameoka S, Saito Y, Takahashi K, Hase K, Oya M, Maeda K, Hirai T, Kameyama M, Shirouzu K, <u>Sugihara K</u>	Characteristics of recurrence after curative resection for T1 colorectal cancer: Japanese multicenter study	J Gastroenterology	46	203-211	2011
Aoyagi H, Iida S, Uetake H, Ishikawa T, Takagi Y, Kobayashi H, Higuchi T, Yasuno M, Enomoto M, <u>Sugihara K</u>	Effect of classification based on combination of mutation and methylation in colorectal cancer prognosis	Oncology	25	789-794	2011
Kobayashi H, Enomoto M, Higuchi T, Uetake H, Iida S, Ishikawa T, Ishiguro M, <u>Sugihara K</u>	Clinical significance of lymph node ratio and location of nodal involvement in patients with right colon cancer	Digestive Surgery	28	190-197	2011
Oka S, Tanaka S, Kanao H, Ishikawa H, Watanabe T, Igarashi M, Saito Y, Ikematsu H, Kobayashi K, Inoue Y, Yahahi N, Tsuta S, Simizu S, Iishi H, Yamano H, Kudo S, Tsuruta O, Tamura S, Saito Y, Cho E, Fujii T, Sano Y, Nakamura H, <u>Sugihara K</u> , Muto T	Mid-term prognosis after endoscopic resection for submucosal colorectal carcinoma: summary of a multicenter questionnaire survey conducted by the colorectal endoscopic resection standardization implementation working group in Japanese society for cancer of the colon and rectum	Digestive Endoscopy	23	190-194	2011



発表者名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Tsukamoto S, Ishikawa T, Iida S, Ishiguro M, Mogushi K, Mizushima H, Uetake H, Tanaka H, <u>Sugihara K</u>	Clinical significance of osteoprotein expression in human colorectal cancer	Clin Cancer Res	17(8)	2444-2450	2011
Ueno H, Mochizuki H, Shirouzu K, Kusumi T, Yamada K, Ikegami M, Kawachi H, Kameoka S, Ohkura Y, Masaki T, Kushima R, Takahashi K, Ajioka Y, Hase K, Ochiai A, Wada R, Iwaya K, Nakamura T, <u>Sugihara K</u>	Actual status of distribution and prognostic impact of extramural discontinuous cancer spread in colorectal cancer	J Clin Oncol	29	2550-2556	2011
Shirouzu K, Akagi Y, Fujita S, Ueno H, Takii Y, Komori K, Ito M, T, <u>Sugihara K</u> , and Cooperative Investigators on behalf of the Study Group of the Japanese	Society for Cancer of the Colon and Rectum (JSCCR) on Clinical Significance of the Mesorectal Extension of Rectal Cancer	Ann Surg	253	704-710	2011
Sato H, Maeda K, <u>Sugihara K</u> , Mochizuki H, Kotake K, Teramoto T, Kameoka S, Saito Y, Takahashi K, Hirai T, Ohue M, Shirouzu K, Sakai T, Watanabe T, Hirata K, Hatakeyama K	High-risk stage II colon cancer after curative resection	J Surg Oncol	104	45-52	2011
Kobayashi H, Mochizuki H, Kato T, Mori T, Kameoka S, Shirouzu K, Saito Y, Teramoto T, Watanabe M, Morita T, Hida J, Ueno M, Ono M, Yasuno M, <u>Sugihara K</u> , Study Group for Rectal Cancer Surgery of the Japanese Society	Lymph node ratio is a powerful prognostic index in patients with stage III distal rectal cancer: a Japanese multicenter study	Int J Colorectal Dis	26	891-896	2011

発表者名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
for Cancer of the Colon and Rectum					
Miyaguchi K, Fukuoka Y, Mizushima H, Yasen M, Nemoto S, Ishikawa T, Uetake H, Tanaka S, <u>Sugihara K</u> , Arii S, Tanaka H	Genome-wide integrative analysis revealed a correlation between lengths of copy number segments and corresponding gene expression profile.	Biomedical Informatics	7(6)	280-284	2011
Hamada C, Sakamoto J, Satoh T, Sadahiro S, Mishima H, <u>Sugihara K</u> , Saji S, Tomita N	Does 1 year adjuvant chemotherapy with oral 5-FUs in colon cancer reduce the peak of recurrence in 1 year and provide long-term OS benefit?	Jpn J Clin Oncol	41	299-302	2011
鈴木弘行、後藤満一、 <u>杉原健一</u>	消化器外科データベースの構築と今後の課題	日本医師会雑誌	140(8)	1651-1663	2011
樋口哲郎、宮崎光史、小林宏寿、山内慎一、小野宏晃、加藤俊介、松山貴俊、石黒めぐみ、石川敏昭、飯田聡、植竹宏之、榎本雅之、 <u>杉原健一</u>	膿瘍ドレナージ術を先行した腹壁膿瘍合併下行結腸癌の1例	癌と化学療法	38(12)	2313-2315	2011
山内慎一、植竹宏之、菊池章史、小野宏晃、松山貴俊、加藤俊介、石黒めぐみ、石川敏昭、小林宏寿、飯田聡、樋口哲郎、榎本雅之、 <u>杉原健一</u>	肝動脈化学療塞栓療法により長期生存が得られた大腸内分泌細胞癌肝転移の1例	癌と化学療法	38(12)	2271-2273	2011

発表者名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
小林宏寿、植竹宏之、樋口哲郎、榎本雅之、飯田聡、石川敏昭、石黒めぐみ、加藤俊介、松山貴俊、小野宏晃、山内慎一、増田大機、 <u>杉原健一</u>	大腸癌術後多発肝転移に対し化学療法施行後2回肝切除を施行した1例	癌と化学療法	38(12)	2301-2303	2011
菊池章史、山内慎一、小野宏晃、加藤俊介、石黒めぐみ、石川敏昭、小林宏寿、飯田聡、植竹宏之、樋口哲郎、榎本雅之、 <u>杉原健一</u>	大腸内分泌癌多発肝転移による肝不全に肝動注が有効であった1例	癌と化学療法	38(12)	2268-2270	2011
加藤俊介、小林宏寿、飯田聡、樋口哲郎、榎本雅之、 <u>杉原健一</u>	低位前方切除術	外科治療	104 (増刊)	628-633	2011
Iwasa S, Nakajima TE, Nakamura K, Takashima A, Kato K, Hamaguchi T, Yamada Y, <u>Shimada Y.</u>	Systemic chemotherapy for peritoneal disseminated gastric cancer with inadequate oral intake: a retrospective study.	Int J Clin Oncol	16(1)	57-62	2011
Iwasa S, Yamada Y, Fukagawa T, Nakajima T.E, Kato K, Hamaguchi T, Morita S, Saka M, Katai H, <u>Shimada Y.</u>	Management of adjuvant S-1 therapy after curative resection of gastric cancer: dose reduction and treatment schedule modification.	Gastric Cancer	14(1)	28-34	2011
Okita N.T, Kato K, Takahari D, Hirashima Y, Nakajima T.E, Matsubara J, Hamaguchi T, Yamada Y, <u>Shimada Y.</u> , Taniguchi H, Shirao K.	Neuroendocrine tumors of the stomach: chemotherapy with cisplatin plus irinotecan is effective for gastric poorly-differentiated neuroendocrine carcinoma.	Gastric Cancer	14(2)	161-165	2011
Tanai C, Nakajima T.E, Nagashima K, Kato K, Hamaguchi T, Yamada Y, Muro K, Shirao K, Kunitoh H, Matsumura	Characteristics and outcomes of patients with advanced gastric cancer who declined to participate in a randomized clinical	J Oncol Pract	7(3)	148-153	2011

発表者名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Y, Yamamoto S, <u>Shimada Y.</u>	chemotherapy trial.				
Iwasa S, Nakajima T.E, Nakamura K, Takashima A, Kato K, Hamaguchi T, Yamada Y, <u>Shimada Y.</u>	First-line fluorouracil-based chemotherapy for patients with severe peritoneal disseminated gastric cancer.	Gastric Cancer [Epub ahead of print]			2011
Kato K, Chin K, Yoshikawa T, Yamaguchi K, Tsuji Y, Esaki T, Sakai K, Kimura M, Hamaguchi T, <u>Shimada Y.</u> , Matsumura Y, Ikeda R.	Phase II study of NK105, a paclitaxel-incorporating micellar nanoparticle, for previously treated advanced or recurrent gastric cancer.	Invest New Drugs [Epub ahead of print]			2011
Sato T, Yamada Y, Muro K, Hayashi H, <u>Shimada Y.</u> , Takahari D, Taku K, Nakajima TE, Shi X, Brown KH, Boku N.	Phase I study of cediranib in combination with cisplatin plus fluoropyrimidine (S-1 or capecitabine) in Japanese patients with previously untreated advanced gastric cancer.	Cancer Chenother Parmacol [Epub ahead of print]			2011
<u>島田安博</u>	胃がん化学療法の新展開	日本消化器 病学会雑誌	108(9)	1521- 1527	2011
Hosaka M, <u>Asamura H.</u> et al.	Proteomic study of malignant pleural mesothelioma by laser microdissection and two-dimensional difference gel electrophoresis identified cathepsin D as a novel candidate for a differential diagnosis biomarker.	J Proteomics.	75(3)	833-44	2012